



創立 150 周年記念式典式辞より

金生第一小学校長 神野 茂

雪晴れの空がすがすがしく、寒いながらも気持ちのよい朝を迎えたこの佳き日、四国中央市立金生第一小学校が創立 150 周年という大きな節目を迎えました。本日ここに、ご多忙の中、学校運営協議会の皆様、保護者の皆様、そして地域の方々のご臨席を賜り、このように盛大に記念式典を挙行できますことは、本校にとってこの上ない喜びでございます。

明治八年、業精小学校として開校以来、本校は 150 年という長い歳月を歩んできました。その間、時代は激しく移り変わり、社会の姿も大きく変化しましたが、いつの時代も変わらず続いてきたのは、この学び舎を支える地域の皆様の熱い想いと、子どもたちの健やかな成長を願う深い愛情です。今日まで本校を支えてくださった全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

さて、児童の皆さん。皆さんが今座っているこの学び舎には、150 年分の先輩たちの足跡が刻まれています。この長い歴史の中で、私たちが大切に受け継いできたものはたくさんあります。そしてこれからも大切にしていきたいもの、その中に「やさしさ」があります。金生第一小学校には、友達を思いやり、困っている人に手を差し伸べる「やさしさ」の伝統があります。一人ひとりが持つ小さな「やさしさ」は、周りの人を笑顔にし、温かな絆を作ります。そして、その心の豊かさこそが、困難な時代を乗り越えていくための、何より強い力となるのです。

そしてもう一つ、皆さんに伝えたい言葉があります。それは、前にも掲げている「希望」です。150 周年という節目は、単に過去を振り返るだけの日ではありません。未来に向かって新しい一歩を踏み出す日です。皆さんは、この先の未来を創る主役です。どんなに世界が変わっても、自分自身の可能性を信じ、夢を描き続けてください。皆さんが抱く「希望」が、これからの金生第一小学校の、そしてこの地域の新しい歴史を創っていくのです。「やさしさ」で心をつなぎ、「希望」を持って未来へ歩む。

この 150 周年という輝かしい節目に、私たち教職員一同も、地域や保護者の皆様と手を携え、子どもたちが自分の翼で力強く羽ばたいていけるよう、全力を尽くしてまいりたい所存です。

結びに、これまで本校の発展にご尽力いただいた全ての皆様のご健勝とご多幸を祈念するとともに、金生第一小学校が、これからも地域に愛され、希望に満ちた学び舎であり続けることを強く願い、式辞といたします。